

消防広報 Vol.40

2024.3 編集・発行／高幡消防組合
印刷会社／(有)笹岡印刷所

こうばん ふれあい 119 ネット

Contents

P2

高幡 救急シミュレーション

高幡 救助隊合同訓練

西分署 車両解体訓練

P3

高陵連合演習結果

出初式風景

春の火災予防運動

P4

新人紹介 (四万十清流消防署2名)

消防コラム (消防職員のつぶやき)

叙勲・長官表彰

お問い合わせは、お近くの消防署までお願いします。

■ 高幡消防組合消防本部	TEL(0889)43-1272
■ 須崎消防署	TEL(0889)42-0119
■ 中土佐分署	TEL(0889)52-2319
■ 津野山分署	TEL(0889)40-1099
■ 葉山出張所	TEL(0889)55-2330
■ 四万十清流消防署	TEL(0880)22-0001
■ 四万十清流消防署西分署	TEL(0880)28-5525

高幡消防組合 救急シミュレーション訓練



救急シミュレーション訓練 開会式



心臓マッサージ実施中



救急救命士による気管挿管

救急出動件数は年々増加しており、当組合では令和5年の救急出動件数が前年より105件多い3,632件と過去最多を更新しています。新型コロナウイルス流行など、救急需要は多様化している現状、こうした課題に対応する為に、各署の救急救命士等が救急シミュレーション訓練を実施しており、今年度は1月17日に中土佐分署で開催しました。

訓練では、高度訓練人形を使用しての心臓マッサージの手技向上や写真で紹介した器具等を用いての技術向上を目的としており、日々の救急業務で訓練の経験を活かし、救命率の向上に繋げていきます。(中土佐 市原)

高幡消防組合 救助隊合同訓練



救助隊合同訓練 開会式



ツインテンションシステム作成



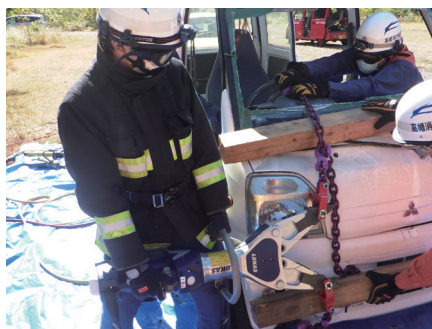
高所で作業しています！

令和5年11月28日、中土佐町にある訓練塔において、各署に所属している救助隊員が合同で「ロープレスキュー訓練」を実施しました。山岳等で事故が発生した際には、現場状況や傷病者の状態に応じた救助方法の選択や隊員間の意思の疎通が重要となります。今回の訓練では、山岳資機材の取扱いや引き揚げ救助等の救助方法を確認し、知識の共有や隊員間の連携を強化することができました。安全・確実・迅速に要救助者を救助するために、今後も訓練を実施し、知識・技術の向上を図っていきます。(四万十清流 芝)

四万十清流消防署 車両解体訓練



1. 座席とハンドル部の間に空間を作っています



2. ハンドルを持ち上げ空間を作っています



3. 車両屋根を開放

四万十清流消防署では1年に1回、実際の車両を用いて車両解体訓練を実施します。これは交通事故が発生した際、車の中に閉じ込められた要救助者を迅速に救助するための訓練です。自動車事故では発生状況により変形している形は多種多様であり、それに応じた救助ツールを使用します。それらの救助ツールの正しい使用方法を学び、それを用いて実践訓練をすることで隊員間でのチームワークの強化にも繋がります。緊急時において、これらの知識、技術、隊員間の連携は要救助者の生命に直結する大事な訓練となるので、これからも継続して実施していきます。(四万十清流 浅岡)

令和5年度『高陵消防連合演習』開催



令和5年10月29日、中土佐町において4年ぶりに高陵消防連合演習(須崎市、中土佐町、津野町、梶原町)が開催され、団員ら総勢275名の参加により行われました。開会式では開催地である中土佐消防団の山崎正明班長が選手宣誓として、「日頃の訓練の成果を発揮し全力で競技に臨む」と誓い競技が開始されました。教練の部は、指揮者の号令に従い、団員22名が整列や行進を行い動作の機敏さや統一性を競いました。

ポンプ車操法、小型ポンプ操法の部では各団共に正確さとスピードを兼ね備えた動きでホースを延ばし、標的に放水し、日頃の練習で磨き上げた技を披露され、ハイレベルな戦いが繰り広げられました。優勝した梶原消防団・中土佐消防団は令和6年6月30日に行われる高知県消防操法大会への出場が決定しました。(津野山 川田)

○教練の部

優勝 梶原消防団
準優勝 津野消防団
第3位 中土佐消防団

○小型ポンプ操法の部

優勝 梶原消防団
準優勝 中土佐消防団
第3位 津野消防団

○ポンプ車操法の部

優勝 中土佐消防団
準優勝 梶原消防団
第3位 津野消防団



高幡各地で出初式が開催されました！



須崎市 出初式



中土佐町 出初式



津野町 出初式



梶原町 出初式



四万十町 出初式

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、高幡消防組合管内ではコロナ禍前の通常規模の出初式が行われました。

参加した団員は団長や来賓の方々から服装点検及び機械器具点検などの査閲を受けました。

その後は一糸乱れぬ分列行進や一斉放水を披露し、観覧に訪れた方々からは全ての団員に温かい拍手が送られ、盛況のうちに式を終えることができました。(津野山 川田)

○出初式とは？

「出初式」(でぞめしき)とは、消防の仕事始めの新春恒例行事であり、一般にも公開されています。はしご乗りや一斉放水などのパフォーマンスを管内では行っていますが、出初式の目的とは何でしょうか？

歴史をたどってみると、江戸時代に大火事が発生し市民が気落ちしていました。その時に、当時の消防が氣勢をあげたのが出初式の始まりと言われており、それを見た市民に大きな希望と信頼を与えました。

それが契機となり、火災予防の啓発及び消防のご理解を深めていただくため、今日に至るまで全国各地で出初式が行われています。

春の火災予防運動

令和6年3月1日～3月7日の一週間、全国一斉に春の火災予防運動を実施しています。この運動は、毎年火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、春と秋の年に2回開催しており、住民の皆様には防火に関する意識や防災行動力を高めていただくことにより、火災の発生を防ぎ、万が一発生した場合にも被害を最小限にとどめ、火災から尊い命と貴重な財産を守ることを目的としています。(須崎 石田)

火災発生件数(令和4・5年)

種別	令和4年	令和5年(前年比)
建物火災	12件	7件(-5件)
林野火災	6件	5件(-1件)
車両火災	2件	1件(-1件)
その他火災	10件	11件(+1件)
合計	30件	24件(-6件)



津野町さくらんぼ園児による火災予防パレード

NEW FACE

新人職員への質問

①所属 ②年齢 ③趣味 ④好きな言葉 ⑤意気込み

しば わたる
芝 渉

- ① 四万十清流消防署
- ② 19 歳
- ③ バレーボール・釣り
キャンプ
- ④ 勇往邁進
- ⑤ 足を引っ張らないよう少し
でも力になれるよう頑張ります。



かわかみ ゆうだい
川上 雄大

- ① 四万十清流消防署
- ② 19 歳
- ③ バレーボール・釣り
- ④ 一期一会
- ⑤ 少しでも多くの人々の力に
なれるよう頑張ります。



『消防士さんは出動してない時、ずっと休憩しているの?』

日頃勤務する中で、住民の皆様からよく頂く質問です。ずばり、仕事はしています笑。出動以外にも様々な業務があり、今回はその中の『予防業務』という仕事をご紹介します。

予防業務とは火災を未然に防ぐための業務です。町の中に新しい建物が建設される時、その建物には消防用設備を設置しなくてはなりません。消防用設備とは例えば、消火器や誘導灯、自動火災報知設備、スプリンクラー等がそれにあたります。火災が発生した際に使用される設備です。これは建物の用途や大きさで設置しなくてはいけないものが変わり、それを消防法に則りながら指導していきます。また、よく皆様の職場等で避難訓練を実施したりすると思いますが、これも予防業務の一環です。これらの活動を通して、火災発生リスクを低減し、火災を『予防』し、万が一の場合においても的確な対応がとれるように備えています。

(四万十清流 浅岡)

消防コラム ～ 消防職員のつぶやき ～



立入検査風景 (消防設備点検中)

令和5年 叙勲受章者の紹介

高幡消防組合でご活躍されていた7名の皆様が日本政府より「瑞宝双光章」「瑞宝単光章」を受章されました。受章者は、長年にわたり国民の生命・身体及び財産を火災等の災害から防御するとともに、消防力の強化、充実に尽力され消防の発展に貢献し、社会公共の福祉の増進に寄与された方々です。

令和5年 春の叙勲

瑞宝単光章

元 高幡消防組合 榑原消防団 副団長

玉川 義昭 様 73 歳

令和5年 秋の叙勲

瑞宝単光章

元 高幡消防組合 津野消防団 副分団長

岡林 豊文 様 68 歳

元 高幡消防組合 四万十消防団 副団長

中平 学 様 70 歳

元 高幡消防組合 榑原消防団 副分団長

中越 金壽 様 70 歳

元 高幡消防組合 中土佐消防団 分団長

佐竹 強 様 64 歳

第41回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

元 高幡消防組合 津野山分署 副分署長

岡崎 好友 様 70 歳

第40回 危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章

元 高幡消防組合 消防本部 消防長

竹内 正志 様 64 歳



令和6年能登半島地震により被害に遭われた皆さまへ、心からのお見舞いを申し上げます。